

【分析化学と公設試の役割】

「分析化学」は、広範囲に利用される化学的計測の基礎学問分野です。技術者、研究者にとって、化学的計測の良否は己の研究開発遂行を左右します。また、既存の分析法が利用できない場合には、新規分析法の開発も必要となってきます。このように、分析化学の技術的、学問的意義は、現在においても大きなものがあります。

一方、「公設試」は公設試験研究機関の略称です。現在近畿管内には、九つの工業系公設試があり、中小企業の技術に関する相談窓口として、日々様々な業務を行っています。過去、公設試は産業振興の一環として測定機器の導入を積極的に進め、各企業の測定ニーズに答える「受託分析」を業務の大きな柱としていました。しかし近年では開発研究支援に業務の重心を移す公設試も多くなっています。

これらの背景を踏まえ、本シンポジウムでは、分析化学分野における公設試の役割や研究成果、加えて公設試がこれから目指すべき方向を、近畿の各公設試で活躍されている研究員の方々に熱く語っていただきます。

◆ 共 催：公益社団法人日本分析化学会近畿支部

◆ 日 時：平成31年1月29日(火) 13:30~17:00

◆ 場 所：(地独)大阪産業技術研究所 森之宮センター 4階小講堂

※会場は和泉センターではございません。

(大阪市城東区森之宮 1-6-50)

◆ 講演題目：(各講演 45分)

「地域ものづくり力を下支え支援する分析技術の事例紹介」

(地独)京都市産業技術研究所 南 秀明 氏

「滋賀県工業技術総合センター、信楽窯業技術試験場の分析業務の紹介」

滋賀県工業技術総合センター 安達 智彦 氏

「微量成分を測定する前に行う試料調製法について — 企業の人材育成 —」

和歌山県工業技術センター 松本 明弘 氏

「微量精密定量を実現するために

— 検出下限・定量下限をどのように決めるか? —」

(地独)大阪産業技術研究所 河野 宏彰 氏

◆ 定 員：50名(申込み先着順)

※ 受講票は発行いたしません。返信で受付をお知らせします。

◆ 費 用：無料

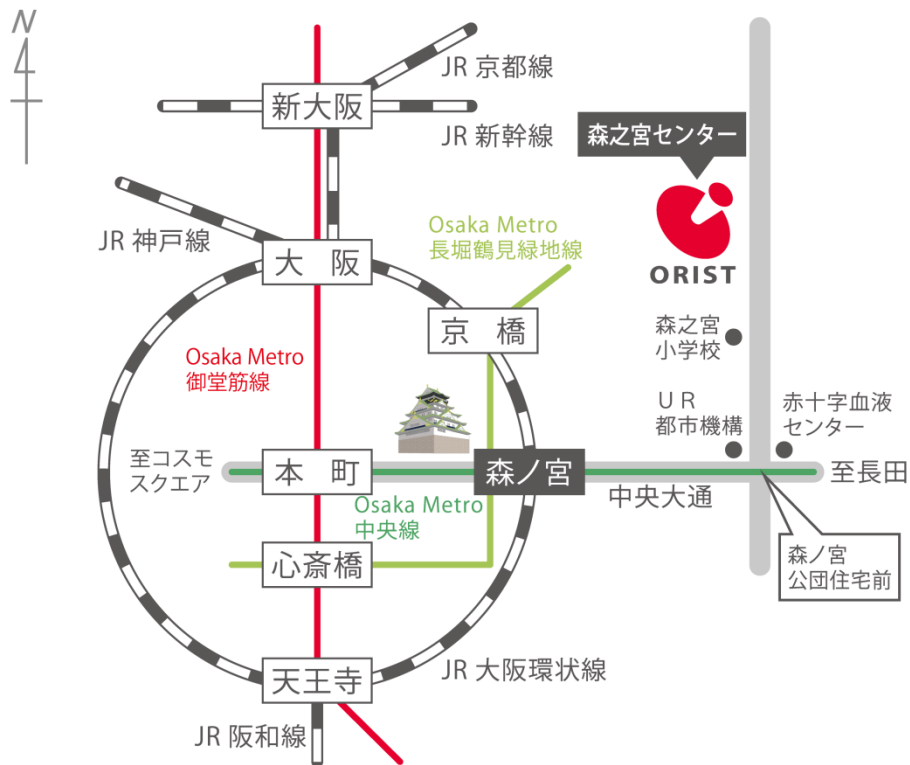
◆ 申込み先：(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター 業務推進部

※ お申込みは、メール (gyoumu_seminar@tri-osaka.jp)

または FAX (0725-51-2520) でお願ひします。

◆ お問い合わせ先：業務推進部 (TEL: 0725-51-2512)

大阪産業技術研究所 森之宮センター 交通案内図 (略図)



FAX 0725-51-2520

「分析化学と公設試の役割」参加申込書

勤務先	
所在地	(〒)
参加者	部署： 役職： 氏名： (K) 利用者カードをお持ちであれば、「K番号」のご記入もお願いします
連絡先	TEL： FAX：
講演会の情報源	①Web ページ ②メール配信 ③チラシ ④他機関の情報 ⑤その他 ()

- ※ 講演会の申込状況の確認はホームページをご覧ください。 <https://orist.jp/izumi/events/seminar/>
- ※ 上記参加申込書に記載された内容につきましては、本研修の参加者の集計及び下記の目的に使用させていただきます。
 - ①お客様からの問い合わせへの対応、当研究所利用に関する手続きの案内など、お客様サポート。
 - ②当研究所および関連団体の催事情報提供などの案内。